

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	優良賃貸住宅供給支援事業(特定優良賃貸住宅)						掲載ページ		
							143		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		26,009	千円	25,816	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	一定の基準を満たす特定優良賃貸住宅(特優賃)の入居者に対して家賃補助を行い、入居者の居住の安定確保を図ります。 特定優良賃貸住宅：ファミリー世帯向けの居住環境が良好な賃貸住宅です。(特優賃) 一定要件を満たす市が認定した管理会社により適切な管理が行われます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	特優賃の入居対象となる方に家賃補助を行うことで入居促進を図ります。また、制度をPRするためのパンフレットを各区役所や市民センターへ配置するとともに、ホームページを活用し、幅広く広報活動を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	特優賃の入居率	85.2 %	86 %	88.5 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	住宅セーフティネット機能の充実を図るため、特定優良賃貸住宅への入居を促進します。 (最終目標と最終年度) 入居率80%以上を維持(通年)			102.9 %			
広報活動及び家賃補助の実施	・パンフレットの配置及びホームページの更新 ・一定の要件を満たす方への家賃補助	・パンフレットの配置及びホームページの更新 ・一定の要件を満たす方への家賃補助	・パンフレットの配置及びホームページの更新 ・一定の要件を満たす方への家賃補助	順調 やや遅れ 遅れ	順調		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】の分析	活動の状況は順調です。入居促進のための広報活動及び家賃補助は有効と考えています。
		「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 本事業は、民間活力に対し家賃補助を行うことにより、ファミリー世帯に対して低廉な家賃で優良な賃貸住宅を確保できるため、市が直接供給する場合と比べて、経済性、効率性は高いと考えます。また、国の補助事業を活用することによって、市の財政負担を軽減しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
入居率の向上を図るため、引きつづき家賃補助を行い、制度のPRに努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	家庭内事故防止のためのPR						掲載ページ		
							143		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		420,464	千円	422,441	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	総務企画課
		<small>「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業」の総額。本事業はその一部</small>		<small>「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業」の総額。本事業はその一部</small>					

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、「子育てふれあい交流プラザ」内に、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や予防方法を紹介します。					
活動計画	「子育てふれあい交流プラザ」の来館者に対し、家庭内の危険箇所や予防方法等を、日常生活空間で再現し、PRを行うことで、家庭内での事故防止に努めます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	「セーフキッズ」利用者数	11,582 人	—	14,815 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの市民に、啓発できたかを図る活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）						
					順調	大変順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 利用者も前年度から大幅に増加したことから大変順調としました。子どもの不慮の事故を防ぐため、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」での啓発は、保護者に事故予防の方法を具体的に例を示して認識する機会を提供・普及することができており、家庭内の事故防止に有効です。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
日常生活空間を再現し、事故予防の啓発を行うことは、子どもの不慮の事故を防ぐことにつながることから、今後も継続して実施していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	住宅市街地総合整備事業(拠点開発型)						掲載ページ		
							143		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		227	千円	105,706	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	再開発課

【Plan】計画 →

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	既成市街地にある遊休地や企業未利用地等を活用して、職住近接型の良好な市街地住宅の整備や公共施設の整備を総合的に行い、住宅供給による市街地への定住人口の増加や地域の活性化等を図ります。また、都市機構や住宅供給公社などの公的機関や民間事業者により市が補助金交付などの支援をすることで、住宅供給を促進し、官民協働でのまちづくりに取り組み、街なか居住の推進を図り、快適な居住環境を創出します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	八幡高見地区は、共同住宅建設に係る実施設計を行い、建設工事に着工する予定です。また、城野駅北地区についても、共同住宅建設に係る実施設計を行う予定です。これらに対し、市は補助金交付などの支援を行います。			

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
		住宅市街地総合整備事業における住宅供給支援戸数(累積) 住宅市街地総合整備事業において、補助金交付などによる民間事業者の支援や道路・公園などの関連公共施設整備を行うことで、市街地(街なか)への住宅供給を進めます。 (最終目標と最終年度)2,271戸(平成34年度)	1,760 戸	単年度目標設定なし	1,760 戸	
(仮称)八幡高見地区S街区第1期建設工事の進捗率 平成28年度の完成に向け、事業の進捗率を指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)		0 %	43 %	0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	やや遅れ
				0.0 %		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	(仮称)八幡高見地区S街区第1期建設工事の進捗率は、施行者による事業計画の検討に時間を要し、事業着手時期が遅れていることから、活動の状況について「やや遅れ」としました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	同様の住宅供給に比べて、購入者の負担を軽減でき、併せて良好な市街地居住環境の整備に寄与しているものと考えます。また、民間建設(資金)を活用し、その一部を助成する事業であり、効率的に良質な住宅ストックの形成ができています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

八幡高見地区及び城野駅北地区において、民間事業者が共同住宅建設に係る実施設計を行い、建設工事に着工する予定です。市は、事業の施行者である民間事業者に対して、これらの事業に係る費用の一部を補助し、事業の推進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	賃貸住宅供給支援・情報提供						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画 →

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか 子育てを担うファミリー世帯がニーズに合った良質な賃貸住宅を選択できるよう、本市の市営住宅、特定優良賃貸住宅などの住宅情報を全国へ発信します。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	「公共賃貸住宅インフォメーション」(国が運営する、全国の市営住宅、特定優良賃貸住宅などの情報サイト)が平成25年度から登録を終了しました。それに伴い、H26年度に新たに構築される「公共住宅事業者等連絡協議会」のホームページに登録し、本市の市営住宅、地域優良賃貸住宅に関する情報ページへのリンク先の掲載を行い、本市の住情報の発信します。	

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
		「公共住宅事業者等連絡協議会」ホームページによる情報発信 市内の市営住宅、特定優良賃貸住宅、高齢者向け優良賃貸住宅に関する募集情報や家賃等の最新の情報を、「公共住宅事業者等連絡協議会」ホームページに登録します。	-	ホームページへの登録	平成26年度末に登録 100.0%	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	新設される「公共住宅事業者等連絡協議会」のホームページは、全国の公共賃貸住宅の情報が一元的に管理されたホームページとなっており、インターネット利用者が情報収集するのに有効です。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	登録および運用についての費用負担は発生せず、経済的である。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

引き続き、「公共住宅事業者等連絡協議会」のホームページに本市の市営住宅、地域優良賃貸住宅に関する情報ページへのリンク先の掲載を行い、本市の住情報の発信に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	住まいの相談支援事業						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		7,514	千円	8,124	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅計画課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 市民が安心して暮らせるよう、マンション管理基礎セミナーや住まいに関する相談会の開催、住情報についての情報発信を行います。	活動実績 以下の活動指標のほか、「住まいづくりの手引き」や「マンション管理の手引き」などの情報誌を作成し、配布しました。
活動計画	関係団体との共催事業による、マンション管理基礎セミナーや相談会を開催するとともに、これに伴う情報を市政だよりに掲載します。また、住情報を掲載した冊子の配布や、マンション管理組合への支援施策の案内を目的としたダイレクトメールの送付を行います。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	住宅に関する相談（一般相談・特別相談）の実施	<ul style="list-style-type: none"> 一般相談：市立商工貿易会館1階に常設窓口設置（月～金曜日） 弁護士による住宅法律相談：第2、第4木曜日（年間24回） マンション管理相談：第3水曜日（年間12回） 不動産トラブルに関する宅建相談：毎週火曜日（年間48回） 住まいの安全・耐震に関する相談：毎週金曜日（年間48回） （最終目標と最終年度）	706 件	1,000 件	937 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
93.7 %						
マンション管理基礎セミナー・相談会の実施	関係団体との共催事業により、分譲マンション居住者や購入予定者等を対象に、マンション管理の基礎的な知識を修得していただくため、マンション管理に関するセミナーや相談会を開催します。 ※前年度実績：14回＝2回（セミナー）＋12回（相談会） （最終目標と最終年度）	14 回	14 回	14 回		
	100.0 %					

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	住宅に関する相談内容は幅広く、専門的な分野に渡ります。そのため、建築士等による一般相談や弁護士、マンション管理士、宅建協会員などの専門家による相談体制を整え、きめ細かな対応が出来ていると考え順調としました。今後も、相談窓口等について、市政だよりやチラシの配布等により市民への周知を図り、市民のニーズに対応するため、これまで以上に相談体制等を整えていくと共に、関係団体と共催し、市民向けのセミナーや相談会の開催、住情報冊子の作成を行います。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	相談業務については、多岐に渡る相談内容にワンストップで対応できる住宅に関する総合的な支援を実施している団体への業務委託や関係団体との共催事業により、経費の削減と市民サービスの向上を図っています。また、住情報冊子の作成においては、市単独で作成するのではなく、県及び他市と共同で作成し経済性の向上に取り組んでいます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

より身近で、かつ専門的な相談体制を整備するため、関係機関や団体と連携して、より充実した事業の実施方法を検討していきたいと考えます。また、福岡県をはじめ、県内自治体や建築関係団体等と協力して、住情報冊子の発行など充実した情報発信を図ります。上記の活動に加え、平成27年度から「マンション管理士派遣制度」の新設を検討します。

※【事業名】の下欄の【平成27年度予算額】には、「マンション管理士派遣制度」に係る予算額は含んでいません。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	多子世帯向け市営住宅への優先入居						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅管理課

【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 市営住宅の定期募集に際して、多子世帯に対して一般抽選枠と別に募集枠を確保する優先的な取り扱いを行い、多子世帯の居住安定確保を図ります。	活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	年間約1,400戸を募集している定期募集において、多子世帯に対して一般申込枠と別に募集枠を確保することで入居者選考において優先的な取り扱いを行います。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		多子世帯向け募集住戸数 多子世帯の居住安定確保に繋がると考え、多子世帯向け募集住戸数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 100戸（平成26年度）	106 戸	100 戸	116 戸 116.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	本事業は、目標を上回ったことから、順調としました。 市営住宅は、健康で文化的な生活を営むための住居に困窮する方々を対象とするものであり、多子世帯に対して優先的に募集を受け付ける本事業は、家庭への負担が大きい多子世帯の居住の安定を確保する上で不可欠な事業であると考えています。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	募集業務や管理業務についても「管理代行制度」や「指定管理者制度」を導入し、経済的・効率的な運用を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

より良い募集方法の実施に向けて、入居選考方法や提供戸数の見直しを検討します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	市営住宅整備事業						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		2,129,645	千円	2,372,800	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	住宅整備課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 本市では現在、約33,000戸の市営住宅を管理しており、低所得者及び、高齢者、障害者、子育て世帯等に供給することにより、市民の居住安定の確保を図っています。整備にあたっては、誰もが使いやすい「すこやか仕様住宅」（床の段差解消、手摺の設置、またぎ高さの低い浴槽等）とするとともに、安全で快適な居住環境を確保するためのシックハウス対策を実施し、子育てしやすい居住環境の整備に努めます。	活動実績 活動実績は以下のとおりです。
活動計画	老朽化した市営住宅の計画的な建替えを行い、誰もが使いやすい「すこやか仕様住宅」を整備するとともに、安全で快適な居住環境を確保するためにシックハウス対策を実施し、子育てしやすい居住環境整備を図ります。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		市営住宅の建替え戸数（着工戸数） 安全・安心な子育てしやすい居住環境を創出するため、居住水準の劣る老朽化した市営住宅の建替え時には、全住戸を「すこやか仕様住宅」として整備します。また、シックハウスの原因となるホルムアルデヒド等の室内濃度の測定を、竣工した全ての住棟で実施します。 （最終目標と最終年度）	187 戸	135 戸	62 戸 45.9 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	（最終目標と最終年度）					

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	本事業は、目標に達しなかったことから、「やや遅れ」としました。老朽化した市営住宅の建替工事の着工は、62戸でしたが、シックハウスの原因となるホルムアルデヒド等の室内濃度の測定は、竣工した全ての住棟で実施しました。残る住宅についても早急に着手し、安全で快適な居住環境の整備に努めます。
	【経済性】 【効率性】の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	公共工事コスト縮減行動計画のもと、市営住宅においても、建物躯体の単純化、仕様の見直し、間取りや工法等の標準化等によるコスト縮減に努めています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

入居者の方等と建替に向け引き続き協議を続けており、早急に建設できるように努めます。昭和40年代後半から50年代前半に大量供給された住宅が、今後一斉に建替え時期を迎えることから、計画的な建替えを行い、誰もが使いやすい「すこやか仕様住宅」の整備を進めます。また、子どもを始めとして入居者の健康を守るため、シックハウス対策を実施し、安全で快適な居住環境を整備します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	市有建築物のシックハウス対策						掲載ページ		
							144		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建築都市局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	建築課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	室内空気汚染については、ホルムアルデヒド等の化学物質によって健康被害の発生が考えられます。そこで、市有建築物の工事にあたっては、竣工時に化学物質が国の示す指針値以下であることを確認するなど、誰もが安心して施設利用ができるように、室内空気中化学物質の抑制を図ります。					
活動計画	全ての市有建築物工事（耐震及び小規模な改修工事等を除く）において室内化学物質濃度測定を実施し、指針値以下で引渡します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	施設の割合	100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	誰もが安心して施設が利用できる状況に繋がると考え、市有施設において化学物質の濃度が指針値以下であることを確認し引渡した施設の割合を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）各年度 100%			100.0 %			
					順調	大変順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		予定どおり、全ての市有建築物工事（耐震及び小規模な改修工事等を除く）において室内化学物質濃度測定を実施し、指針値以下で引き渡しました。この取り組みは、シックハウス症候群等の健康被害防止対策として効果があります。
		化学物質の濃度を指針値以下に抑えるための建築材料及び換気方法等については、信頼性が十分に高いもののうち最も安価なものを選定しています。市有建築物の工事の実施主体は市であり、設計及び工事の監督も市が実施しています。その中で市が責任を持って取り組んでおり、民間活力導入の余地はありません。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
今後とも健康被害が出ないように、「シックハウス対策」を継続的に進めます。